

みずほCustomer Desk Report 2017/04/18 号(As of 2017/04/17)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	108.32 AUD/USD
TKY 9:00AM	108.32	1.0610	114.95	1.0050	1.2536	0.7580
SYD-NY High	109.05	1.0671	116.03	1.0055	1.2596	0.7612
SYD-NY Low	108.13	1.0603	114.86	1.0011	1.2527	0.7573
NY 5:00 PM	108.90	1.0642	115.91	1.0043	1.2565	0.7589
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.265/12.765		△ 25RR	2.860	Yen Call Over	

NY DOW	20,636.92	183.67	債券市場	日本2年債	-0.2070	1.8bp
NASDAQ	5,856.79	51.64		日本10年債	0.0080	▲0.2bp
S&P	2,349.01	20.06		米国2年債	1.2011	▲0.4bp
日経平均	18,355.26	19.63		米国5年債	1.7756	0.6bp
TOPIX	1,465.69	6.62		米国10年債	2.2498	1.2bp
シカゴ日経先物	18,525	120.00	為替市況	独10年債	-	-
ロンドンFT	-	-		英10年債	-	-
DAX	-	-		豪10年債	-	-
ハンセン指数	-	-		USD/CNH	6.8781	▲0.0087
上海総合	3,222.17	▲23.90		ドルインデックス	100.29	▲0.22
USDJPY 3M Vol	10.40	0.22%	商品市況	CRB指数	187.392	▲0.38
USDJPY 6M Vol	10.03	0.17%		NY金	1,291.90	3.40
EURJPY 3M Vol	13.88	0.44%		WTI	52.65	▲0.53
EURJPY 6M Vol	12.10	0.21%		Dubai Spot	53.71	▲0.44

東京	週明けシドニー時間のドル円は108.70レベルでオープン、限られた流動性の中で一時108.97をつける場面が見られたものの、週末に北朝鮮がミサイル発射実験を断行したことで、朝鮮半島における軍事衝突リスクが高まっていることなどを背景に反落。その後も売り優勢地合いが続き、108.25近辺まで下落した。かかる中、108.32レベルで東京時間オープン。中国1-3月期GDPが発表され、市場予想を上回る数字(実績:6.9%、予想:6.8%)となるも、マーケットの反応は限定的。引き続き上値の重い推移が継続し、一時年初来安値となる108.13まで値を下げた。午後に入り、黒田日銀総裁より「物価目標2%実現には依然として距離がある。引き続き強力な緩和推進が適切」などの発言が見られたが、こちらも市場への影響は限られたものとなった。その後、イースター休暇で流動性が乏しい中で108円台前半での揉み合い推移に終始し、108.41レベルで東京市場クローズとなった。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場休場
ニューヨーク	海外市場のドル円は年初来安値となる108.13を付けた後底堅く推移し、108.49レベルでNYオープン。朝方発表された米3月ニューヨーク連銀製造業景気指数は予想を下回ったが、市場への影響は限定的となり、ドル円は108.65まで上昇。その後、米7月稼働数の増加を受けてWTI原油が下落するとドル円は108.32まで反落。しかし、午後にかけて米長期金利が上昇したことや、小高く寄り付いた米株が金融セクターを中心に上げ幅を拡大したことからドル買いの流れが強まり、ドル円は108円台後半まで上昇した。その後はムニッソン米財務長官の「長期的には強いドルが好ましい」、「年内の税制改革を見込んでいる」との発言を受けて米長期金利が一段と上昇する展開に、ドル円は高値となる109.05まで上昇。但し、109円台ではドル売り意欲も相応に強く、ドル円はやや値を戻して108.90レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.0642レベルでNYオープン。ここ数日下落していたユーロ円がショートカバーなどで反発したことなどから、ユーロドルは1.0671まで上昇。その後は米長期金利の上昇を受けてドル買いの流れが強まると、1.0638まで戻り売られて1.0642レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:末木・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	中	Event	結果	予想
4月17日	11:00	中	小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産(前年比)	3月 10.9%/9.2%/7.6%	9.7%/8.8%/6.3%
	11:00	中	GDP(前年比)	1Q 6.9%	6.8%
	15:15	日	黒田日銀総裁 講演	-	-
	21:30	米	ニューヨーク連銀製造業景気指数	4月 5.2	15.0
4月18日	6:00	米	フィッシャーFRB副議長 講演	-	-

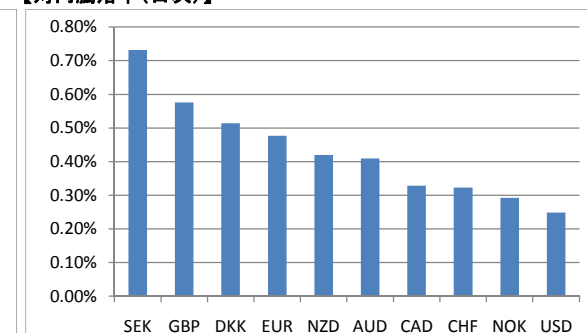
【本日の予定】

Date	Time	豪	米	米	米	Event	予想	前回
4月18日	10:30	豪	米	米	米	RBA理事会議事要旨(4/4開催分)	-	-
	21:30	米	米	米	米	住宅着工/建設許可件数	3月 1250K/1250K	1288K/1216K
	22:00	米	米	米	米	ジョージ・カンザスシティ連銀総裁 講演	-	-
	22:15	米	米	米	米	鉱工業生産(前月比)	3月 0.4%	0.1%
	-	-	-	-	-	日米経済対話(4/18-19)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.50-109.50	1.0580-1.0700	115.00-117.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は終盤にかけて上昇。トランプ大統領によるドル高牽制発言や北朝鮮を中心とした地政学リスクの高まりを背景に108円台前半まで下落していたドル円相場であるが、ムチュール米財務長官がトランプ氏の発言につき短期的な悪影響に関する指摘と修正した上で、長期的には強いドルを肯定する発言が伝わるとドル買い優勢となり、109円台を試す展開となった。本日のドル円相場だが、引き続き上値は重い展開か。ペンス副大統領は過去の対北朝鮮戦略に対し、戦略的忍耐の時代は終わったと述べる等、軍事的な動きの可能性をちらつかせるなど、地政学リスクが懸念される状況に変わりではなく、短期的なドル円の戻りはあったとしても、積極的な買いが続く場合にはないものと想定される。